

第 49 回神戸市勤労者福祉事業懇話会 議事要旨

- 1 日 時 平成 30 年 1 月 25 日（木）午前 9 時 30 分～11 時 05 分
- 2 場 所 神戸市役所 2 号館 4 階 401 会議室
- 3 出席者 板東 慧、西村 智、秋武 秀俊、磯川 須美子、中島 栄吉、
北尾 真理子（順不同、敬称略）
（事務局）
小椋担当部長、山出勤労市民課長、中村勤労福祉係長、安部担当係長、
壇、松田

4 傍聴者 なし

5 議 題

(1) 今後の勤労会館機能について（新中央区総合庁舎の整備について）

6 報告事項

(1) 神戸三宮「えき～まち空間」基本計画（案）について

(2) 新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた基本計画（案）について

7 議事要旨

議題 (1) 今後の勤労会館機能について（新中央区総合庁舎の整備について）

□ 大会・研修など労働団体からの様々なニーズにも対応できるよう、多様な大きさの会議室・講習室、ホールなどを作ってほしい。

また、IT 関連設備についても最新のものを導入し、使いやすい施設にしてほしい。

□ 中央区役所と体育館が一緒になるなら、騒音や振動等の対策が必要であるし、また、大ホールが区役所の上層階にあれば、混雑時を考慮して出入口を別々にするなどの対策が必要になってくる。区役所業務に影響を与えない工夫が必要になるため、難しいのではないかと。

また、体育館について、更衣室・シャワー室等、LGBTの方なども含めたユニバーサル対応の設備を導入してほしい。

□ 現在の勤労者向けの優先予約や減免の制度は、新しい施設でも継続してほしい。

また、現在、神戸市労働者福祉協議会の事務所が勤労会館の中にあるが、新しい施設に移転できるのか。

○ 新しい文化施設は、様々な立場の方が利用する複合施設となることから、例えば先日開催された中央区区民まちづくり会議では、区民が使いやすい施設にしてほしいなど様々な要望が出ている。

今後、これらの要望を総合的に調整していくことになるが、減免や優先予約の制度や、市内の勤労者全体の福祉向上に資する団体の活動拠点としての機能をはじめ、懇話会でいただいたご意見や要望をふまえて検討していきたい。

- 3案の中ではA案が最も現実的だと思う。体育館については、磯上公園などでグラウンドと一体配置することで、南への人の流れを創り出したり、スポーツ施設としての運営効率も高めたりできるのではないかな。

- C案のように3号館跡にホールを作ると、国際会館にもホールがあり、バスターミナル、新2号館にも文化ホールが整備されるなど、近くにホールが林立し混乱するのではないかな。
また、フラワーロードの東側・国際会館南側は比較的人の流れが少ないので、体育館やホールはそのようなエリアに配置する方が望ましいと思う。

- A案が一番妥当と思う。スポーツ利用客が区役所の中を歩いている状況は想像しにくい。区役所と体育館は分けて配置し、アウトドア型施設にインドアスポーツ施設を併設するほうが、市民からもわかりやすいはず。
また、勤労会館では、学生の自習でのロビー利用も多いように感じる。新しい施設では中会議室の1室を使い、学生や勤労者向けの自習室を作ってみてはどうか。

- 現在、自習室機能を持っている青少年会館については、別途、所管局において青少年にふさわしい移転先を検討しているところである。

- 北欧では会議室のインターネット予約が進んでおり、高齢者も利用しやすい環境が整っているが、勤労会館の現状はどうか。

- インターネット予約も導入しているが、抽選申込を窓口で行う必要があるため、現在では空室申込など一部限定的な運用となっている。

- A案が最も現実的だと考える。ただ、3号館跡であれば新施設が完成してから現在の建物を解体することができると思うが、例えばホールや体育館などが3号館跡に入らない場合は、その移転のスケジュールはどうなるのかな。

- 移転に伴う空白期間を最少限にするため、移転先を市役所3号館跡に決定した。
3号館跡に入りきらない機能についても、利用できない期間ができるだけ発生しないよう努力していきたいと考えている。ただ、例えば、移転先がバスターミナルビルとなった場合などは、ご不便をお掛けすることもあるかもしれないが、できるだけ最小限に留めるよう努力していきたい。

- バスターミナルビルに入る三宮図書館も機能は一時休止となるのかな。

- 少なくとも仮移転は必要となる。その間、貸出等を継続できるのかな、規模を縮小してでも続けられるのかなど、所管局が検討している。

□ 大型機材の搬出入を伴うホールは、駐車場が整備された車両の寄り付きやすい場所に整備するほうが望ましいと思う。

□ かつて闘争要素が強かったメーデーも、現在はその趣旨が変わりつつあるように、大部分が勤労者とも言える市民も、その就業形態は多様化してきている。時代も変化している中で、「勤労会館」という名称にこだわる必要は無いと思う。名称にこだわり、勤労者に利用を限定するのではなく、今後は機能の面で多くの市民に有用な施設にすべきであるし、将来を見据えた機能が必要と思う。

働く人が行きやすい条件も作りながら、全般的に使いやすい機能が必要と思う。

○ 本日いただいたご意見を反映できるよう、全体として調整を進めてまいりたい。

報告事項 (1) 神戸三宮「えき~まち空間」基本計画 (案) 及び

報告事項 (2) 新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた基本計画 (案) について

□ 海外のように、交通渋滞を防ぐための課金導入などは検討しないのか。

○ 通過交通が都心を通行しないようになれば、渋滞は相当改善されると思う。都心への搬出入車両の寄り付き場所やエリア内での公共交通機関利用なども含め、様々な検討を行っているところである。

□ 車利用の観光客には、駐車場が確保されるのか。

○ 都心の真ん中に駐車するのではなく、エリア周辺に駐車場を確保するなどの検討もされると思う。

□ 障がい者向けに車両乗入許可などの対応はあるのか。

○ 詳細は今後の検討となるが、障がい者向けの配慮は当然検討されることである。

□ 駅間乗換動線の改良をはじめ、神戸のまちが便利になるのはありがたいが、一方で神戸らしさ、まちの個性についてはどのように打ち出していくつもりか。また、高層ビルの乱立を防ぐ景観規制などはあるのか。

○ 三宮クロススクエア自体が、神戸の玄関口としての象徴となることを目指している。また、海から眺めることができる六甲山といった希少な景観を守るために、既に景観形成への取り組みを行っているところであり、今後の魅力的なまちづくりに向けた景観の考え方もこの基本計画にも盛り込んでいる。

□ 山と海に囲まれ南北に細長い神戸は、かつて通過交通が2号線に集中したが、これからは北部や湾岸部のバイパスへの誘導、都心部への寄り付き方、民間主体の駐車場の効率的な運用などが課題となろう。

以 上

【凡例】 □は委員の発言、○は事務局の発言